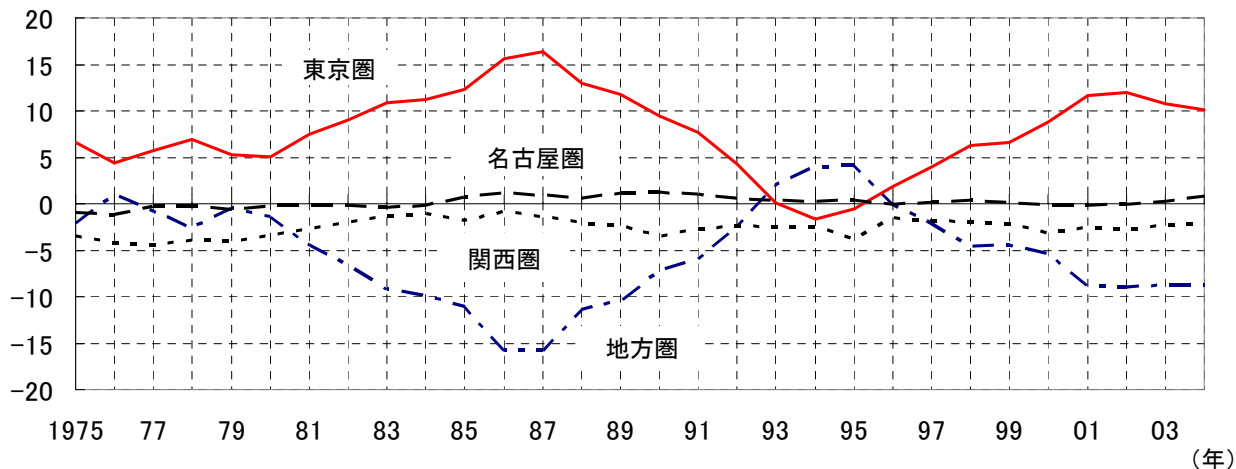


指標：人口の転入超過数(圏域別)

人口の転入超過数を圏域別にみると、80年代に入って生じた東京圏への集中は、87年をピークに低下を始め、1994～1995年には転出超過に転じた。しかしその後再び転入超過に転じ、東京圏への転入超過数は増加傾向にある。これに呼応して、地方圏における転出超過も増加傾向にある。

(転入超過数、万人)



(出典) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに国土交通省国土計画局作成。

(注) 上記の地域区分は以下の通り。

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、 名古屋圏：岐阜県、愛知県、三重県、 関西圏：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、
三大都市圏：東京圏、名古屋圏、関西圏、 地方圏：三大都市圏以外の地域